

新しい年によせて

新しい年が始まりました。同じ一日でも1月初めの一日一日は、なんだか空気も澄み渡り、心はずみ、身の引き締まるような思いがするものです。このような「節目」を持つことができる人は間だけのもの。大切にしたいものです。今年の干支「馬」は、何かを始めるのにいいとされています。また、馬は周囲とのコミュニケーションをとること得意としています。意識して過ごしたいものです。

始業式は今回も「放送を聞く」という形で行ってみました。養護教諭が「咳工チケット」について話をしている間、全てのお部屋を覗いてみました。「今年もいい年になる」そう思わずにはいられない子どもたちの素晴らしい「聞き方」に、感動さえしました。子どもたちは残すところ3ヶ月弱で進学・進級をしますが、これまでご家庭、園で培ってきたことはちゃんと土根を張っている、と感じた瞬間でした。新しい年が子どもたちにとって実り多き一年になることを願わざにはいられません。1月は行く、二月は逃げる、三月は去りあつという間ですね。

保護者の皆様、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

さくら組の始業式。後ろ姿もりりしく。



「きくゆり動物園」に多くのご家庭にご来場いただきました。



「日本は社会に出てから学ばない国だ。それでもやっていけるのだからいい国なのかもしれない」という文を新聞記事で目にしました。何のために学ぶのか、を説くのではなく、子ども自身が面白いから学ぶ、もっと知りたいから学ぶ、という「学ぼうとする本能」を「遊び」の中から引き出していくたいと考えている時、井上ひさしさん（小説家）の言葉が頭によぎりました。紹介します。

「むずかしいことをやさしく やさしいことをふかく ふかいことをおもしろく おもしろいことをまじめに まじめなことをゆかいに そしてゆかいなことはあくまでゆかいに」（井上さんは「ひょっこりひょうたん島」を手かけた方です。）

大
幼



大分大学教育学部附属幼稚園

令和7年度
園長だより

No13
R8年1月9日

今日は大雪と風邪の理由で来れなかつたサンタさんが来てくれました！

サファリごっこ振り返りも行い、動物たちと年長さん全員でなかよしあ弁当です！

